

# 11月も役立つ講座がいろいろ!

## シングルマザーの会

◆11月11日(日) 13:30~15:30  
 場所: 参画センター 相談室  
 参加費: 無料 託児: あり(要予約)

## 子育ておしゃべりサロン

◆11月8日(木) 10:00~12:00  
 場所: 参画センター 学習研修室1  
 参加費: 無料 託児: あり(要予約)

## 摂食障がい家族の会

◆11月10日(土) 13:30~15:30  
 場所: 参画センター 相談室  
 参加費: 無料

知ってる?

## 男女共同参画のキーワード

### 食品ロスとフードバンク

10月16日は「世界食料デー」。世界の飢餓や栄養不足と、その解決策について考える日だ。本来、地球上には世界の人口75億人を十分賅うだけの食料がある。しかし、9人に1人、8億2100万人が、飢えに苦しんでいる。

一方、世界では生産された食べ物の3分の1が廃棄されている。日本も「食品ロス」大国の一つだ。日本では、年間2,842万トンの食品廃棄物等が出されている。このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は646万トンに上る。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量(平成26年で年間約320万トン)の約2倍に相当するそうだ。また、食品ロスを国民一人当たりで換算すると「お茶碗約1杯分(約139g)の食べもの」が毎日捨てられていることになる。「生ごみの4割が手つかず食品、食べ残し」という現実を何とか変えることはできないだろうか。

近年、食品ロスへの関心が高まってきた。フードバンクも各地に広がっている。フードバンクとは、食品の製造・販売企業から余剰食品や規格外商品、包装の傷みなどで市場に出せない品質に問題のない食品の寄附を受け、支援を必要とする人や福祉施設などに提供している。

### 予告

## 男女が共に活躍できるまちづくり講座

◆12月8日(土) 13:30~15:00  
 内容: 次世代の地球環境と食品ロス  
 講師: 勝浦 敬子さん  
 (NPO グリーンコンシューマー高松代表)  
 場所: 参画センター学習研修室3  
 参加費: 無料  
 定員: 50人  
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)

## やさしい英語で男女共同参画を学ぶ講座

◆12月19日(水) 13:30~15:00  
 内容: 「海外のクリスマスあれこれ」  
 講師: 高松トーストマスターズクラブ  
 場所: 参画センター学習研修室3  
 参加費: 無料 定員: 30人  
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)

県内では平成26年6月に、「NPO 法人フードバンク香川」が設立された。フードバンク活動を推進することにより、「食品」を介して地域における人と人のつながりをつくり、地域で支えあう社会の実現に寄与している。

取扱品目は、米、野菜、飲料品、レトルト、インスタント食品、缶詰、調味料や乾燥食品などの食品、お菓子など、冷蔵、冷凍の必要のない物。寄付先は、現在、社会福祉施設、ホームレス、支援団体、地域づくり団体、市町社会福祉協議会を通じた生活困窮世帯など。NPO 法人たかまつ男女共同参画ネットも参加しており、DV 被害者やシングルマザーなどの困っている方に提供している。来月には、忘年会、クリスマス、そして正月、新年会と続くが、食べ物を残さないように心がけようではありませんか。

また12月8日(土)に参画センターでも「次世代の地球環境と食品ロス」を開催予定。関心のある方は、ぜひご参加ください!

(参考資料: 消費者庁 HP、日経新聞、NPO 法人フードバンク香川 HP など)



# 10月の行事から

### 市民企画講座

## 10/6 家事ギャップ&産後クライシスを吹き飛ばせ! 夫婦の子育てが楽しくなる子育て講座

参加者数: 6組12人 場所: 学習研修室3  
 家事タスク表を書いて夫婦でコミュニケーションを図ってもらった。お互いが感謝し、尊敬し、思いやること、認め合うこと、伝えることの大切さをお伝えした。パパの3分体験も体感してもらった。  
 (参加者の感想)  
 「生まれる前にパパと子どものふれあい方を勉強できて良かった。実生活でもぜひ実行したいと思う」  
 「夫が今日習ったことを家で実践してくれることを期待している」等。

### 裁判所の出前講座

## 10/18 暮らしのトラブル解決法は? ~簡易裁判所を利用しよう~

参加者数: 33人 場所: 学習研修室3  
 金銭トラブル・ご近所トラブルなどを解決したいという時に、簡易裁判所の民事調停を利用する。そのための手続きの方法、どのように進んでいくかということを実例・DVDを見ながら説明していった。裁判所は敷居が高いと思っていた方も、今日の話聞いて、「身近に感じる事ができた」という感想をいただいた。  
 (参加者の感想)  
 「今日の講義を聞き、裁判所が身近に感じました」  
 「町内の老人クラブや居場所、少人数のグループにも出前講座をぜひ検討して欲しい」等。

### やさしい英語で男女共同参画を学ぶ講座

## 10/24 スポーツにおける男女の活躍 ~オリンピックをめざして~

参加者数: 10人 場所: 学習研修室3  
 講師: 高松トーストマスターズクラブ  
 今回のテーマはスポーツに関して、特に東京オリンピック開催に向けて学びあった。  
 (参加者の声)  
 「オリンピックのことがよくわかり、知識が広がりました」  
 「オリンピック競技種目ごとに英語を覚える事が出来て良かった。興味が深まった」

### いきいき終活カフェ

## 10/25 少ないもので快適に暮らそう!

参加者数: 24人 場所: 学習研修室1・2  
 今回は最後の終活カフェ。衣食住の“住”について、参加者の経験談を交えながら、「どうすれば少ないものですっきり暮らせるか」について話し合った。「必要な物以外は捨てる」「思い出の物は残しておく」を原則にすると、快適な生活を送れるという結論に達した。(参加者の感想)  
 「今私が実践していることで、とても役立つ内容だった。今日学んだことで快適な生活ができるよう頑張りたい」「捨てるが身につまされた。実行したい」

## トピックス

10月12日「もてなしドーム・鼓門」が出迎えてくれる、加賀百万石城下町金沢駅に到着しました。一日目は、基調講演に始まり、分科会、交流会。二日目は、記念講演、分科会報告、高校生によるマーチングバンドのアトラクション、記念シンポジウムが行われました。

分科会は、9つの分科会がありました。どれも参加したい魅力のある分科会でしたが、私は、「医療における性差」の分科会に参加しました。講師のお話がとても興味のある内容だったので、2時間という時間は短く感じ、とても盛り上がったことは言うまでもありません。他の文化会も大変盛り上がったようでした。夜には親睦会で、全国の参加者と交流ができたことも全国大会の魅力です。

二日目の記念講演は女性能楽師の舞いの後、「能の道を歩む」と題してお話をされました。男性主導の能楽界におけるご自身のあゆみや、妻として母として悩み、奮闘する日々を通して、自分らしく生きているというお話でした。

## 「日本女性会議2018金沢」に参加して

報告者 多田育代(かがわキャリアサポート)

様々な葛藤と向き合ってきたのだと思うと、目頭が熱くなるのを覚えました。記念シンポジウムは、「これからの生き方・働き方のカタチ」をテーマに、副題は、「結婚の選択肢が不人気なわけ」でした。おたわ史絵さんのお話の後、コーディネーターと二人のシンポジストを加えてシンポジウムが行われました。インド出身で、日本で結婚、生活をしているシンポジストの方が、「自分の国は自分の力で支える」と言われた言葉が印象に残っています。

今回は、「男女共同参画社会の実現」に向け、一人の参加者として日本女性会議に参加できたことはとても勉強になり、力が湧いてくる気がしました。今後の活動にも、ぜひ活かしていきたいと思えます。

